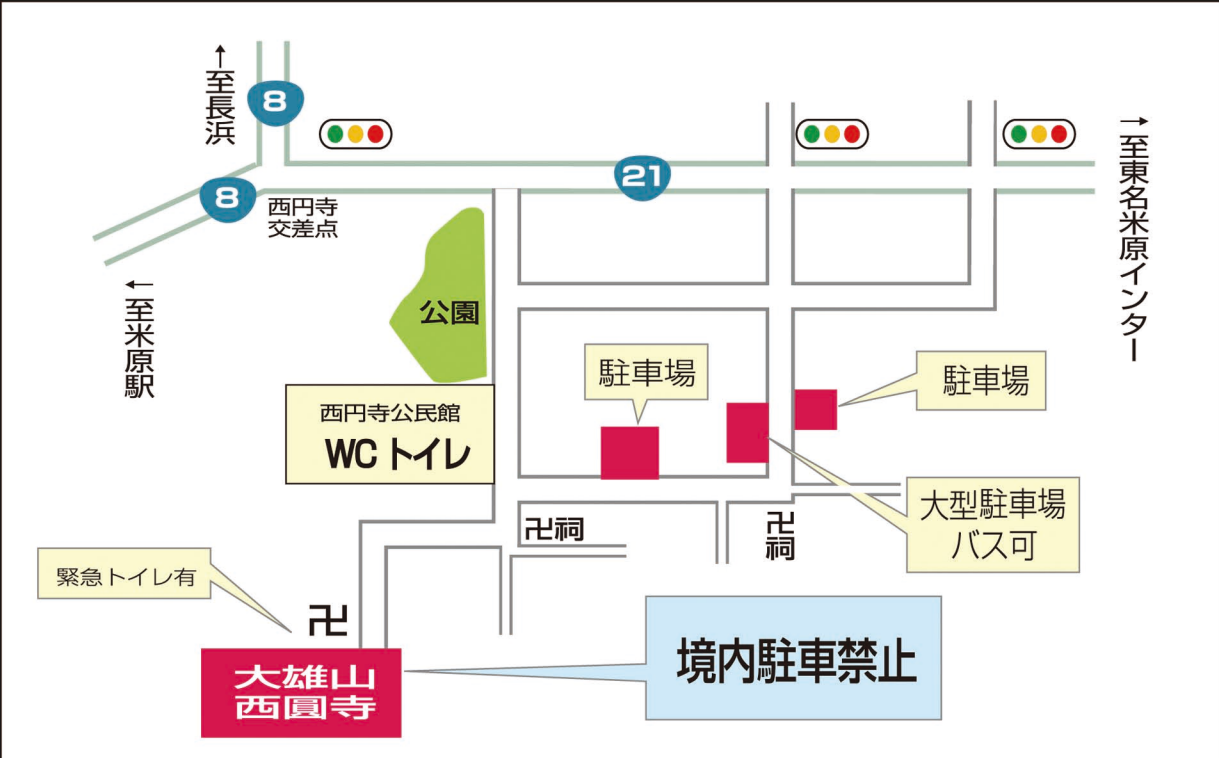


# 大雄山西圓寺 本尊御開帳 進行表

<b>二十七日 (土曜日)</b>	
九時	開龕開式 本尊献茶式 (岡本皎上流家元)
九時半	秘仏開帳法要 厳修 (区内寺院住職及び尊宿)
十時	結縁護摩法要厳修 (大橋慈峰師/天嶺山三台寺一門)
正午	昼食休憩
十三時	黄檗宗布教師会会長法話 (芹澤保道老師)
十四時	写真撮影 (於双龍門前)
	御本尊聖観世音菩薩 自由参拝
十六時	閉龕
	終日野点接待 (煎茶皎上流社中)
<b>二十八日 (日曜日)</b>	
九時半	開龕
	御詠歌奉納 (全長寺梅花講社中)
十時	大施餓鬼法要/塔婆回向 (区内寺院住職)
正午	昼食休憩
十三時	写真撮影 (於双龍門前)
十四時	奉納催事
	中国洋琴演奏奉納
	中国獅子舞奉納
十六時	閉龕閉式
	終日野点接待 (煎茶皎上流社中)

※27日は護摩祈禱供養 (護摩木一本/三百円) 28日は大施餓鬼塔婆供養 (一塔婆千円) 及び募財志納もお受け致しますので詳細は受付にお問合せ下さい。

## 無料駐車場 (境内迄徒歩五分)



# 大雄山西圓寺御開帳

## 奉開龕聖観世音菩薩

時/平成三十年十月二十七日(土)・二十八日(日)  
於/大雄山西圓寺 圓通殿(本堂)

大雄山西圓寺御開帳募財のお願い

平成三十年の御開帳開催に当たり、当山参拝者ならびに関係者の皆様方に大変恐縮ではありますが、左記の要領にて御開帳の募財(ご寄付)をお願いしております。この三十三年に一度の御開帳を成功のために発願し、一人でも多くの皆様方にご寄付を賜りたく存じ上げます。御寄付頂きました皆様方には、境内の告知版にて発表し御開帳当日にご来賓としてご招待申し上げます。

**秘仏御開帳趣意**

大雄山西圓寺は天台宗有力寺院として約七六百年前に創建され、天台宗(延暦寺)の末寺として栄えましたが、信長の焼き討ちで壊滅的な被害を受けました。

江戸初期、中国福建省より隠元禪師が渡来、徳川四代將軍家綱公の帰依により京都宇治に黄檗山万福寺が開創され、黄檗禪が瞬く間に日本中に広まりました。

西圓寺は、その黄檗宗の寺院とし彦根藩の井伊家と新庄檀家、さらに西円寺有志信者によって新たに再建されました。

寺の建立は、まず観音堂を建てます。現在、本堂となっている建物は別名「圓通殿」と呼び、観音堂を意味します。この観音堂(本堂)に安置されているご本尊は、鎌倉期に造られた秘仏聖観世音菩薩立像で県指定重要文化財です。

西圓寺では、寺の最も重要な行事として過去三十三年ごとに御開帳法要が厳修されてきました。厨子を開け境内には、供養塔(角塔婆)を立て、ご本尊と柱を六根帯で結びます。柱に触れることは直接ご本尊に触れるのと同じ意味があり、観音様の神通力や妙知力(念彼観音力)を得て五穀豊穡、家内安全、病魔退散等のご利益を頂戴してください。



御開帳記念「六根ストラップ」

【ご志納】 事前志納者の方 (二口五千円)	塔婆回向/昼食接待/記念品
【ご寄付】 事前寄付者の方、来賓としてご招待申し上げます。	塔婆回向/昼食接待/豪華記念品
一口.....五万円	記念品↓肉筆色紙額
二口.....十万円	記念品↓肉筆額装作品
四口.....二十万円以上	記念品↓聖観音肉筆軸 (軸装/桐箱入)
【当日参拝者】 護摩志納.....千円 (護摩木/おしき/記念品付)	

- 【御開帳ご寄付による事業予算案】
- 本堂壁漆喰修復.....五十万円
  - 双龍門塗装修復.....百万円
  - 本堂瓦一部修復.....百万円
  - 法要運営費.....百万円
  - ★催事費.....百五十万円